

# 作業療法士

## Occupational Therapist

(1) 作業療法士とは	3 1
(2) 自立活動教諭（専門職）作業療法士の紹介	3 2
(3) 関わりの具体例	
実践事例1「スプーン操作が難しい児童への支援」	3 5
実践事例2「イライラから自傷や他害につながる生徒への支援」	3 6
(4) 巻末付録（参考・引用文献、支援グッズ紹介）	3 7

### (1) 作業療法士（以下、「OT」という。）とは

学習や生活、遊びなど、さまざまな活動に関する支援を行います。

幼児・児童・生徒（以下、「子ども」という。）が、学校で安心して育ち、学んでいけるよう身体面や行動面での特徴、活動、環境を分析し、具体的な支援について教師等と一緒に考えることができる専門職です。

- 食事・排泄・更衣など日常生活活動（以下、ADL）に関すること、姿勢や運動に関すること、日常的な行動・活動に関すること、自助具や車いす、装具類に関することなど、学校生活のさまざまな活動について相談を受けて支援を行います。
- OTは、医療・保健・福祉・教育・職業関連など幅広い分野で働いています。特別支援教育においては、子どもの障害種別にかかわらず、主体的に取り組めることを支えます。



OT×E 作業療法の『作業（作業活動）』とは？

- ここでいう『作業（作業活動）』とは『何かをして時間を占める』ということの意味します。仕事や日常の生活はもちろん、趣味や遊び、創作活動など、人が人として生きていくのに必要な、あらゆる活動が含まれています。
- OTは、この『作業（作業活動）』を通して生活全般にわたり、『人が何かをすること』を幅広く支援していきます。

※ 作業療法の歴史の詳細は、平成25年度版手引きをご参照下さい

## (2) 自立活動教諭(専門職)作業療法士の紹介

➤ こんな時は声をかけて下さい。一緒に取り組みます。

### ① 教科学習・個別の課題に関すること

(道具の使用、上肢の操作性、認知面、目と手の協調、ICT、コミュニケーション など)

たとえば・・・

- ☆ 鉛筆やハサミが上手に使えなくて大変そう… 何とかしてあげたい!
- ☆ 筆圧が強すぎたり、弱すぎたりするのはなぜ?
- ☆ 朝の会や授業をわかりやすくしたり、主体性を引き出すための工夫は?
- ☆ 目の使い方や見え方が少し気になるなあ… 見やすい板書や教材は?
- ☆ ICTを活用したいが子どもにあった支援方法を一緒に考えて欲しい

OTは、どのようにしたら子どもの挑戦や学びが達成できるのかを考えます。学習や活動の苦手さの背景には、目の動きの苦手さ、身体の動きの感じにくさなど、私たちにはわかりにくい難しさを持っていることがあります。OTは、様々な感覚の受け取り方や認知の状況を把握したり、本人の手の使い方に合わせて道具を選択したりと、子どもに合わせた段階付けを提案します。

また学習の場面は、物や課題を介した人とのコミュニケーションの場でもあるととらえ、心理面や人間関係の形成の視点についてもアドバイスを行います。



### ② 姿勢や運動に関すること

(授業や休息時の姿勢、作業効率のよい姿勢、体育の授業、体力作り・トレーニング など)

たとえば・・・

- ☆ 姿勢がフニャフニャして崩れやすいなあ…
- ☆ 授業中に落ち着いて座ってられないんです…
- ☆ 動きがぎこちないのはなぜ? どのように支援したらいいかな?
- ☆ 体育や体力作りの時間に、どのような運動に取り組んだらいいか教えて欲しい
- ☆ 楽しく身体を動かす活動には、どのようなものがあるの?

OTは、活動を安全かつ快適に、持続して行えるような姿勢や、そのための椅子や机の工夫を提案します。活動(休息も含む)ごとに適した姿勢は異なるので、それぞれの場面について考えます。

運動については、その子どもが持っている身体のイメージ、動かし方、その運動で得られる感覚の視点などから考えていきます。子どもがどのような感覚を楽しんでいるかを考え、持っている身体の動きで挑戦し、「できた!」と思える活動につながるように一緒に考えます。



### ③ ADLに関すること

(食事、トイレ、着替え、身じたく、入浴 など)

たとえば・・・

- ☆ スプーン、箸など食具の操作、食べ方（食形態）や支援の仕方について
- ☆ トイレでの支援方法について一緒に考えて欲しい
- ☆ 靴の脱ぎ履き（ひも結び）や洋服の着脱（ボタンなど）をやりやすくする工夫は？
- ☆ 身じたくの手順の定着にはどうしたらいい？
- ☆ 入浴のときに身体の洗い残しがあるんだけど・・・

OTは、日常の動作がどこまでできていて、どこでつまづいているのかを観察し、支援方法を考えます。そして動作がより行いやすくなる方法や手順、主体性を引き出す支援方法を考えます。また、個々に合わせた道具の工夫や、自助具の紹介・作製、物の配置や動線といった環境設定も、必要に応じて提案します。子どもたちが安全かつ快適に活動できるように考え、達成感を持てるように関わります。



### ④ 日常の行動に関すること

(遊び、感覚、環境の把握 など)

たとえば・・・

- ☆ なんでも触る、口に入れる、人にくっついていることが多いのはなぜ？
- ☆ 特定の物に触れることを嫌がるみたいなのですが…
- ☆ ガタガタと常に動いているのはなんでだろう？
- ☆ 物を投げる、道具を壊す、暴言を吐くことなどが多いのですが…
- ☆ 自傷や他害、パニックをどのように考えたらいいの？

OTは、子どもの行動を「なぜ、そうしているのだろうか？」という視点で考えます。何度注意しても行ってしまう行動の背景には、特定の感覚を感じすぎる、または感じにくい、沢山の感覚情報の中から必要な情報に注意を向けられないなどの、感覚の問題が隠れている場合があります。

自傷や他害なども、感覚の視点から見ると子どもにとって必要な刺激であり、自らを補う行動として現れている場合もあります。環境面の把握、心理面、誤学習など総合的に踏まえ、適切な行動につなげられるよう支援策を提案していきます。



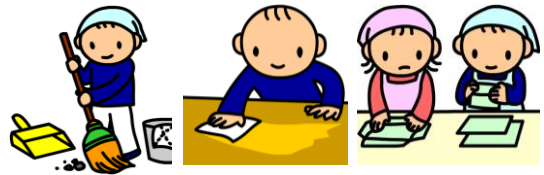
## ⑤ 作業活動に関すること

(作業学習、実習、学校アセス など)

たとえば・・・

- ☆ 登校から朝の準備までの一連の動作をスムーズにするにはどうしたらいいでしょう？
- ☆ 作業しやすい道具や動線、部屋のレイアウトなど環境設定について知りたい
- ☆ 作業が終わったことや手伝ってほしいことを、どうしたら伝えられるかなあ？
- ☆ 学校アセスの結果をどのように作業学習や実習に活かしていったらいいんだろう…

OT は、作業を行う上で必要な要素（姿勢や運動、手先の操作、認知機能など）を分析します。作業活動を行う際には、“手や身体を動かす力”と“頭で判断する力”が必要です。子どもの観察を通して、道具や環境、工程手順や教示方法の中にある苦手さを探り、それらを工夫することで操作性や主体性の改善に努めます。またそれとともに子どもの意図や意欲も重要です。OT は、その子どもが何をしたいのかという視点を大切にしながら、さまざまな支援を行います。



## ⑥ 補装具などの福祉用具に関すること

(車いす、座位保持装置、歩行器、日常生活用具、環境整備 など)

たとえば・・・

- ☆ 車いすや座位保持椅子での姿勢について
- ☆ 電動車いすの操作について知りたい…
- ☆ 車いすを作製するときの注意点は？
- ☆ 補装具についての安全な利用方法を教えて欲しい
- ☆ 日常生活用具や福祉機器の種類、利用できる制度について知りたい

OT が補装具や日常生活用具に関わる時には、子どもが思い描く生活が送れることを念頭に置いて考えます。学校生活では、運動、休息、学習、食事、校内外での行事など、さまざまな活動や場面があります。それぞれの活動や場面での利用方法を整理し、安全かつ快適で、子どもの挑戦も保障できるような、使いやすい福祉用具を検討します。また必要に応じて校内外の専門職とも連携しながら一緒に考えていきます。



### (3) 関わりの具体例



キーワード

成功体験

個別教育計画

食具の工夫 姿勢の安定

#### 実践事例1 肢体不自由教育部門



#### 「スプーン操作が難しい児童への支援」

##### 【主訴】

(担任より)

児童は普通スプーンを使って食べることを練習している。

肘や手首の動きを、教員が介助しながら食べているが、この支援で適切なのかを見てほしい。

##### 【OTの見立て・アセスメントの視点】

児童の座位姿勢は不安定で、右手でスプーンを操作しようとするすると身体が左へ傾く。食具はすくいやすい皿と普通スプーンを使用。給食を配膳されると、手づかみしようとするなど、食べることへの意欲は高い。スプーンを持たせると、すくおうとしたり、口に運ぶような動きがみられる。

しかし、児童の手の握りは弱く不安定で、担任が肘の位置や曲げ伸ばしを介助してすくうことができて、手首の動きが未熟で、うまく口に入らない。環境面でも、児童の肘と手首を同時に介助するには食堂のスペースが狭く、他動的な動きになりがちであった。また自らが操作して「できた!」という、一連の行為を体験する機会が少ないようであった。

もっと「自分が操作している」と実感でき、試行錯誤しながら操作する体験が必要であると考えた。

##### 【目標設定と支援の実際】

- 手の握りの安定 ⇒ スポンジ状の太柄をスプーンに装着した。
  - 食べ物が口に入るように ⇒ スプーンの首の部分曲げた。(手首の動きを補う)
  - 座位姿勢の安定 ⇒ 身体の両側にウレタンクッションを入れ、カットの深いテーブルに変更した。
- 以上のような支援により、操作がやさしくなり、少しの支援で自らすくって食べる事ができた。



作業療法士

##### 【その後の様子】

- 児童の姿勢を安定させ、食具を工夫することで、持っている力を発揮でき、自力摂取につながった。
- 個別教育計画では、入学時より「普通のスプーンを使用し、他動的な介助で正しい動きを身につける」ことが目標になっていた。曲げたスプーンで練習すると、普通のスプーンを使えなくなるという懸念が担任の中にあっただようである。現在の環境と児童の持っている力を検討した結果、個別教育計画での目標達成のためには、段階付けが必要であることを担任とOTで確認し合った。
- 目標達成のための手立てとして、様々な方法があることを話し合い、太柄の曲げたスプーンを使用していくことになった。

##### 【成果と反省】

- 個別教育計画を確認し、担任と協力しながら、児童に最適な支援を共に考えていくことが大切である。
- 児童の「やりたい」気持ちを、「できた!」という達成感、成功体験につなげ、その積み重ねが操作性の向上につながった。



## 実践事例2 知的障害教育部門

### 「イライラから自傷や他害につながる生徒への支援」



キーワード

自閉症 知的障害 自傷、  
他害 視覚支援 情報共有

#### 【主訴】

(担任より)

自傷や他害行為を止めることができるよう、複数の担任が常時対応している。落ち着いて活動に取り組めるようになってほしい。



#### 【OTの見立て・アセスメントの視点】

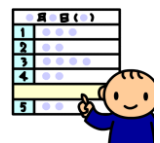
- 生徒は言語表出があり、コミュニケーション能力が高い印象を受けるが、口頭指示の理解は曖昧で、やりとりに食い違いが生じていた。自尊心や物事に対する理想が高く、失敗を嫌う、あるいは失敗を許さない傾向がある。
- 感情のコントロールが出来ないときや、課題の取り組みがうまくいかなくなると、自分で頭部を強く叩いたり、隣の生徒を叩くことが見られた。
- 物の扱い方は少し乱暴など、不器用さがみられ、手先の細かい作業ではイライラして落ち着かなかった。
- その結果、クラスの授業に参加できず、別室で複数対応での個別指導になっていた。



- これらを整理すると

原因 ⇒ イライラする ⇒ 自傷・他害 (結果として個別対応)

- ・背景として、①担任の言語による指示の内容と本人の理解とのギャップ ②自分の能力と理想とするイメージのギャップ ③感覚の偏りからくる不器用さなどが考えられ、自傷や他害も衝動性だけではなく、自己刺激によるものもあるのではないかと考えた。
- ・他害につながらないように、一人で過ごすことでイライラを抑えようとするのがあり、これを有効に使えるのではないかと見立てた。



#### 【目標設定】

- クラスの活動に参加する機会を増やす。イライラ時の解決方法を獲得する。

#### 【支援の実際】

- 背景①に対して ⇒ 簡潔な言語指示に加え、予定・目標、手順表、1日の振り返りなど、視覚情報の提示を提案した。
- 背景②に対して ⇒ 行動の傾向を把握し、疲れがピークに達する前に休息を促し、取り組む活動の難易度の調整などを行った。
- 背景③に対して ⇒ 生徒に合った課題の設定と道具の工夫で、成功体験を得られるようにした。  
⇒ 固有覚を取り入れた活動を行った。(高這いで雑巾がけ、相撲など)
- クールダウンの為の教室の必要性和レイアウトを提案した。
- 他害につながった場合の対応法について、ケース会を通じて、チーム(担任、教育相談コーディネーター、学部長、部門長、養護教諭、管理職など)で情報を共有した。

#### 【成果】

- 視覚支援によって担任の指示が理解しやすくなり、見通しを持って活動に取り組めるようになった。
- 生徒に合った目標の設定や課題を提供することで、イライラにつながるものが減少した。また、固有覚を取り入れた活動を行い、自傷や他害も前年に比べて激減した。自信が持て、不得意な活動にも少しずつ取り組めるようになった。
- クールダウンの部屋を設けたことで、イライラした時には自分から部屋に入り、気持ちを落ち着かせようと努力するようになった。
- 生徒の行動特性をチームで共有し、生徒がイライラしても他害につながる前段階で自己コントロールできる機会が増えた。

#### 【今後の方針】

- 毎日、生徒と行う振り返りの中で、出来ている、成長していることに賞賛を加え、自信や次のステップの意欲につなげていき、クラスの活動に参加できる時間を増やしていく。

## (4) 巻末付録 (参考・引用文献・支援グッズ紹介)

### ① 参考・引用文献、参考サイト

- ・標準作業療法学 作業療法学概論第2版 岩崎テル子編 医学書院 (2004)
- ・新作業療法の源流 秋元波留夫編著 三輪書店 (1991)
- ・発達障害領域の作業療法 長谷龍太郎編 中央法規 (2011)
- ・日本作業療法士協会パンフレット  
「特別支援教育」における作業療法、発達障がいのある人々への作業療法、  
精神に障がいがある方の生活・就労を支援する作業療法
- ・東京都障害者 IT 地域支援センター <http://www.tokyo-itcenter.com/>

### ② 支援グッズ紹介

## OTの道具箱



### 生活編

#### スプーン・フォーク色々



うまく操作できない、噛みこみがあるお子さんに！  
柄の長さ・太さ・形だけでなく、ボール部の形や大  
きさ、深さ、素材で使い分けています。

#### お箸色々



箸の安定や指を置く位置のガイドな  
ど、必要に応じたサポートのある箸  
を使い分けています。

#### 飲みやすいコップ



コップの縁が鼻に当  
たらないうよう、コッ  
プの上部が斜めにカ  
ットしてあります。

#### すくいやすいお皿



うまくすくえないお子さんに！  
手首がうまく返せなくても、へり  
を使うことで、食べ物をすくいやす  
くなります。

#### ボトルオープナー



少しの力でペット  
ボトルや瓶の蓋が  
開けやすくなりま  
す。

#### 結ばない靴ひも



通すだけでOK  
の靴ひもです。

#### すべり止め色々



ゴム製でとても強力。薄手で凹凸  
がないので紙の下にも敷けます。



メッシュ素材。お値段がお手ごろ  
で使いやすいです。



両面吸盤です。凹凸のあるもの  
どうしもしっかり固定します。

<音や声の大きさに関わる支援グッズ>



**イヤーマフ**

声や音に過敏なお子さんに！一般的なものは耳をふさいだくらの音に聞こえます。安いものだとホームセンターで1000円程度でも購入できます。



**ボイスルーラー**

自分の声のコントロールが難しいお子さんに！目で見て音量の確認ができます。

<時間の確認のための支援グッズ>



**タイムタイマー**

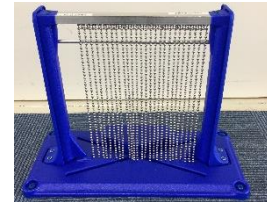
時間を視覚的に確認できます。

<スイッチ類>



最もシンプルな押すタイプのスイッチです。大きさが3種類あり、指、手、足などで押すことができます。

単体では音楽のなるおもちゃとして、ジャックをさすことでスイッチとしても使えます。



指先の小さな力でスイッチを押すことができます。

<机と椅子>

**ムービングクッション**

滑り止めの付いたゴム製の斜面クッションです。自然に背中が伸びやすくなります。



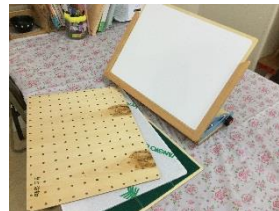
**箱椅子**

厚手の段ボールとバスマット、ウレタンなどで自作した姿勢保持用具です。身体の側方への崩れも抑えることができます。



**チェンジングボード・斜面台（視覚用学習机）**

斜面を利用して見やすい角度に設定できます。また姿勢が崩れずに活動でき、ボードが何種類かあるので、書字だけでなく、スイッチなどたくさんの場面で使用できます。



<書字のための支援グッズ>

**ペンホルダー**

市販の鉛筆につけて持ち方をわかりやすく、または持ちやすくできます。



**太い芯の三角シャープペンシル**

芯と持ち手が太いので持ちやすいです。



<はさみ>



開閉が難しいお子さんに！握るだけで切ることができるもの、開きを補助するものなどがあります。



遊び編

かむチューブ

手や服を噛んでしまうなど、噛む欲求のあるお子さんに！噛む感覚の欲求がある場合、それを保障してあげることも大切です。硬すぎず、やわらかすぎず、程よい噛み心地の噛むグッズです。



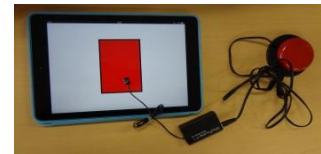
オムツの吸水ポリマーを用いた人形

病み付きになる手触りで感覚遊びに！オムツのポリマーを医療用手袋に入れて作った人形です。



iPad タッチャー

手がうまく使えなくて iPad ができないお子さんに！そんな子どもたちがスイッチで iPad を操作できるようになるグッズです。（スイッチは別売りで、本人に合ったものを取り付けられます。）



<役立つ iPad アプリ>

カテゴリー	ロゴ	App 名	価格	説明
コミュニケーション スケジュール		vocaco 無料版	無料	vocaco は、VOCA 機能、スケジュールの表示・削除機能があります。あらかじめ設定しておいた画像・音声も使用してコミュニケーションを簡単にとることができます。
コミュニケーション		かなトーク	無料	ひらがなを単音で読み上げます。
読み上げ		ボイス オブ デイジーLITE	無料	本や絵本をデジタル録音した図書（DAISY 図書）を 120 秒間再生できます。
視覚支援		はじめ つぎは	無料	「●●やったら■■やろうね」といった言葉かけでは次の活動への見通しがもてない段階の子どもに対しての支援に！ドロップスのシンボルなどとの連動も可能です。
タイマー		こえタイマー	無料	声で知らせてくれるタイマーです。起動させるとプリセットでさまざまなタイマーが用意されています。同時に 3 つまでセットできます。

作業療法士